

子育て支援エクセレント企業

県、新たに25社・団体認定



県子育て支援エクセレント企業の認定を受けた企業の代表者ら
＝岐阜市学園町、ぎふ清流文化プラザ

県は、従業員の仕事と子育てを両立できる職場環境づくりに取り組む「県子育て支援エクセレント企業」に県内の25社・団体を認定し、24日、岐阜市学園町のぎふ清流文化プラザで認定式を開いた。

2011年から模範となる優良な取り組みを実践する企業・団体を認定（前年度までに31社・団体）。今回は育児休暇の延長や事業所内保育所の設置、所定外労働時間の削減、キャリアアカウンセラートとの面談などを実施している企業を認定した。

式には約500人が出席。古田肇知事が代表者に認定証を手渡し、「今後も子育て環境を発展させられるように尽力してほしい」と述べた。

認定企業の取り組みの発表のほか、脳科学者の茂木健一郎さんが「男脳と女脳、脳科学からみた女性の活躍推進」と題し講演した。（湯浅裕作）

認定された企業は次の通り。

町 関中央病院グループ（関市）生活協同組合コープぎふ（各務原市）サトウパックス（美濃市）十六銀行（岐阜市）新生メディカル（同）太平洋工業（大垣市）タック（同）たんぼ薬局（岐阜市）東濃信用金庫（多治見市）トーカー（岐阜市）ファームコーポレーション（同）平成会（関市）りあらいず和（郡上市）和光会グループ（岐阜市）